

第47期決算公告

2018年6月15日

大阪府大阪市此花区西九条1丁目28番13号
株式会社日立物流西日本
代表取締役社長 木村 善之

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流 動 資 産	14,267,364	流 動 負 債	8,026,445
現金及び預金	146,206	買掛金	2,937,861
受取手形	381,370	リース債務	471,468
電子記録債権	105,937	未払金	1,532,679
売掛金	6,846,431	未払費用	1,394,178
原材料及び貯蔵品	17,668	未払法人税等	645,814
前払費用	333,084	未払消費税等	870,016
未収入金	78,132	前受金	60,059
繰延税金資産	306,754	預り金	92,561
預け金	6,029,900	その他	21,805
その他	21,878	固 定 負 債	6,493,591
固 定 資 産	8,217,705	リース債務	5,910,706
有形固定資産	6,814,289	退職給付引当金	536,961
建物	590,843	役員退職慰労引当金	40,600
構築物	11,911	長期預り保証金	5,323
機械及び装置	20,042		
車両運搬具	11,615	負 債 合 計	14,520,037
工具、器具及び備品	75,443	【純資産の部】	
土地	1,276	株 主 資 本	7,965,032
リース資産	6,103,156	資 本 金	200,000
無形固定資産	28,838	資 本 剰 余 金	60,000
ソフトウェア	22,803	資 本 準 備 金	60,000
その他	6,034	利 益 剰 余 金	7,705,032
投資その他の資産	1,374,578	利 益 準 備 金	50,000
投資有価証券	501	その他利益剰余金	7,655,032
長期貸付金	553	固定資産圧縮積立金	62,384
長期前払費用	111	別途積立金	5,732,400
繰延税金資産	164,789	繰越利益剰余金	1,860,248
差入保証金	1,201,247		
その他	7,375	純 資 産 合 計	7,965,032
資 産 合 計	22,485,070	負 債 純 資 産 合 計	22,485,070

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 自 2017年4月1日
至 2018年3月31日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		50,361,827
売 上 原 価		45,016,553
売 上 総 利 益		5,345,274
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,179,239
営 業 利 益		3,166,035
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	80	
保 険 配 当 金	1,270	
物 品 売 却 益	4,601	
還 付 加 算 金	3,815	
そ の 他	4,903	14,671
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	293,761	
そ の 他	2,633	296,394
経 常 利 益		2,884,312
特 別 利 益		
移 転 補 償 金	14,940	
固 定 資 産 売 却 益	1,798	16,739
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	11,136	11,136
税 引 前 当 期 純 利 益		2,889,915
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	982,000	
法 人 税 等 調 整 額	△ 77,887	904,113
当 期 純 利 益		1,985,802

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

計算書類は「会社計算規則」(平成18年2月7日 法務省令第13号)に基づいて作成しております。

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券	償却原価法
子会社株式及び関連会社株式	移動平均法に基づく原価法
その他有価証券(時価のあるもの)	期末決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)
〃 (時価のないもの)	移動平均法に基づく原価法

(2) たな卸資産 移動平均法に基づく原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定額法

(2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

(3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
..... 自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
..... リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうちリース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

期末債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上することとしております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間による定額法により、翌事業年度から費用処理しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。